

FC岐阜 大好き 通信

『ぎだいでおり』ではありませんが、そう呼んでいただいてもOKです。FC岐阜のサポーターが小さな話題を集めてお配りします。試合前の時間つぶしにご利用ください。会場に残されるとごみになっちゃいますので、お持ち帰りください。会場美化にご協力を。



ホームの観客にも勝利の味を届けてくれ!

後期第08節 **ロッソ熊本戦** の巻

8月19日(日) 18時~

真夏の沖縄で、出場停止明けの片桐のゴールで7試合ぶりの勝利。選手みんな、勝利の味を思い出してくれたかな? でもね、ホーム長良川に集まるぼくらはまだなの。だから今日も勝ってね、お願い!
今日の相手はロッソ熊本。順調にJ加盟の『4位以内』をキープし続ける強豪。でも、前期のアウェー大津での試合はジョルジーニョのヘッド一発で勝利した。上位を叩いてさらなる反撃の勢いをつけよう。

本日、岐阜サポの呼びかけで選手入場時に『フラッグまつり』が行われます。オフィシャルのLフラやミニフラの他にも、サポ手作りの大旗やゲーフラが登場予定。

◇FC琉球戦

●「日本中で記録的な猛暑」と報道される中、沖縄では地元の人が「台風よりひどい」と言う記録的な豪雨。那覇市内で被害も出たが、試合当日は天候が回復し薄曇りでの開催となった。

スタジアムでは開門からBGMが流れ、チアガールやDJも登場。ハーフタイムも豪華で、さすがは「芸能どころ」の沖縄といったところ。そのスタジアムに駆けつけた岐阜サポは、なんと約30人も。しかも今期最大の観客比でありながら、持ち込んだダンマクの数は相手を上回らばかり。(笑)

試合は開始早々の8分、岩田昌が負傷退場。いやな雰囲気は続き、FC琉球の激しい当たりと攻撃に苦しめられるチーム。必死に声援を送るが、そのまま前半を折り返す。

後半は、修正が効いたのか徐々に流れがFC岐阜に傾き、57分には望みの片桐がゴール! スタジアム中が静まりかえる中、歓喜に沸く岐阜サポ。これがアウェイの醍醐味。その後は何度か決定機を逃がし、相手からカウンターを受けるが、守りきって試合終了。待望の後期初・6節振りの勝利に、再度歓喜を爆発させるFC岐阜サポ。長く苦しんだけど、その分喜びも大きい。

さて今節はロッソ熊本戦。ホーム熊本で負けたリベンジを果たすべく、彼らは岐阜に乗り込んでくる。チームが、気を緩めることなく最高の試合をして、連勝してくれることを信じている。(ささたく)

●試合後、後かたづけをしていると琉球サポから、「号外です。」と、沖縄タイムスの号外をいただく。みると、カラーで印刷されたこの試合の結果を印刷した号外だった。試合前に新聞社がMDPを配っているのはJなどでもあるが、結果をその会場で配るのは初めてだった。この点は、岐阜のスポンサーの二つの新聞社を完全に超えていると思う。

また、売店で売っていた琉球のTシャツのセンスが大変よかったこと。普通の店に並んでいても違和感がなく、かなりのセンスのよさで、これも岐阜は負けているなと。

Tシャツに関連して、オフィシャルHPに乗っていた『岐阜魂』のTシャツについて。あれは、国際通りのTシャツ屋さんで作ったもの。このTシャツ屋、オーダーメイドで「〇〇魂」の〇〇に都道府県名が入れられるT

直近3試合の結果

後05節 △ 佐川印 0-0 岐阜 (岐阜得点者: なし)
後06節 △ 岐阜 1-1 横河 (岐阜得点者: 小島)
後07節 ○ 琉球 0-1 岐阜 (岐阜得点者: 片桐)

順位表/TOP9

後期第7節【暫定】		
1.	佐川急	58pts +38
2.	熊本	53pts +24
3.	岐阜	42pts + 9
4.	YKK	41pts + 9

5.	北陸	41pts + 4
6.	横河	38pts + 9
7.	Honda	37pts + 9
8.	千葉	36pts 0

次回Home Game

後期第10節
YKK AP戦
10/14(日) 13:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場
天皇杯や国体で空きます。

天皇杯!

◆岐阜県予選決勝
9/2(日) 15:00
@長良川球技メドウ
◆全国大会1回戦
岐阜県代表 × 福岡県代表
9/16(日) 13:00
@長良川球技メドウ

Today's Guest - welcome to GIFU - ロッソ熊本

1969年に電電公社熊本の同好会として生まれ、その後2002年のJFLに参加も1年で降格となった『アルエット熊本』を受け継ぐ形で2005年に発足。1年で九州リーグ→地域決勝を通過しJFLへ。しかし昨年はリーグ後半に勝ち点を伸ばせず最終順位は5位。J加盟は見送られた。ホームスタジアムは熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKウイング)など。

◇横河武蔵野戦

●片桐、ジョルジが出場停止でどうなることかと思われたFW陣。フタを開けてみると、小島・森山という元日本代表の2TOPであった。内容は印刷戦・横河戦と徐々に上向きになっているのが感じられた。ポールも人も積極的に動いていて、松永さんの狙いとするサッカーが選手にかなり浸透していているのであろう。ディフェンスも前からチェックができていたし、ポールを繋いで、サイドからクロスをとる展開は、最近になく得点の匂いを感じさせた。

そして、先制を許したもののすぐに追いつくことができた。これが一番大きかったのではないと思う。今までは、先制を許すとガタツときてしまうシーンが多かったから。ここで逆転できなかったのが残念ではあるが、ここ数試合の中では最も評価できる内容ではなかったかと思う。

最後に片桐・ジョルジを欠いてのこの内容。厳しいことを書けば、2人がいなかったからこそできた内容のサッカーではなかっただろうか。スタンドで見えてであろう2人にとってはどう写ったであろう…自分を見つめなおすよい機会になっていれば良いのだが。(リベロ)

●先制されるも追いついての1-1と「悔しい」というよりは「惜しい」と表現するにふさわしい内容。スクランブルともいえる小島 森山の2トップは十分機能したといえる。特に森山に関しては新聞のインタビューでフル出場への意欲も見せておりコンディションのよさがうかがえる。そういえば「後進に道を譲る」なんて言葉をこれっぽちも聞いたことがない。あくまで実力がものをいう世界。ゴリさん、まだまだこれからだ!(TAG)

シャツが作れるお店で、豪雨に手はヤクぞ? 『岐阜魂』のTシャツを作れ、試合後の感想戦中、岐阜駅西口前・クラム・ホテル東側隣の『博多ラーメン・びったれ家』だ! は遠征に参加した8名のみと、これだけの人数で、8/19(日)20、このMDP持参の方に生(小)1杯サービスかラーメン200円引!

投稿用メールアドレス

gidaidohri@hotmail.co.jp

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当: ささたく & 吉田 鑄造